



ぐんまエコアクション21倶楽部

環境経営セミナー

最新の石油情勢と価格動向

手嶋氏はまず、「日本のエネルギーの主役である石油が一次エネルギー供給の47・4%（2012年）を占めているが、近年は原子力が止まった事が要因となり火力発電の原料である石炭やLNG（液化天然ガス）が増えている」と述べ、さらに「原油価格の変動要因は、足元の経済状況を反映した需給や在庫状況などを基礎とした需給ファンダメンタルズに加え、将来の需給に対する懸念、地域紛争やテロなど地政学的要因、更には株価やドル相場など金融プレミ



手嶋雅之氏

ぐんまエコアクション21倶楽部（林整会長、会員103社）では、10月3日、前橋市・産業技術センターにおいて、環境経営セミナーを開催した。今回は、「最新の石油情勢と価格動向」をテーマに、一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター調査役手嶋雅之氏を講師に招いた。

アムの要因が影響を与える」などと解説した。

次いで日本の燃料動向について、「日本の燃料油全体では、1999年度をピークに需要減退傾向が続いており、中でも、燃焼効率向上や建物の断熱化などにより灯油が減り、HVやEVの普及によりガソリンの減少が目立つが、LCCの普及によりジェット燃料が増えるなど新しい需要もできている」と説明した。

最後にシエール革命について、「米国を中心にシエールガスの開発が加速化しており、採掘可能な埋蔵量は世界全体で約207兆立方メートル。しかし、シエールガスが今後日本に輸入されても天然ガス価格の下落は2割程度だと考えられており、また、シエールガスが今後普及していくには、採算性、水質汚染等の環境問題など課題も多い」と述べセミナーを締めくくった。

◎セミナーを終えて

エネルギー問題はどの業界にとっても重要なことだと思えます。大変参考になったとの声が聞かれました。



組合女子職員研修会開催

厳重な食品管理と歴史ある観光資源を見学



豆腐作り体験

10月8日、恒例の組合女子職員研修会を開催した。今回は、栃木県の太子食品工業株式会社日光工場及び大谷資料館を見学した。

太子食品工業株式会社は、大豆加工食品のメーカー。平成10年度に新設された日光工場では、豆腐をメインに扱っている。参加者は、半導体や医療機器製造と同等の衛生環境にある製造工程を見学し、豆腐作り体験等も行った。

次に見学した大谷資料館は、昭和54年に開館した宇都宮市特産である大谷石採掘の歴史に関する資料館で、大谷石材協同組合の関連施設である。採石場跡地を活用し



大谷資料館前にて

た体験型観光が人気である。参加者は、大谷石の採掘の歴史について説明を受けた後、地下採掘場跡を見学した。年間平均気温8℃の地下空間は天然の鍾乳洞と違い、石壁がまっすぐに切り立ち、見る者を圧倒する風景が広がっていた。

◎研修を終えて

参加者同士で自己紹介用の交換カードを積極的に活用し、交流を深めていた様子でした。今後も、交流のきっかけとなり、有意義だと感じていただける事業を実施していきたいと思えます。

群馬県商店街振興組合連合会

情報交換会開催

～商店街活性化の好事例を探る～



奥野美代子 氏

群馬県商店街振興組合連合会（今川守会長、15会員）は10月21日、効果的なイベントの企画・実施方法等について、情報交換会を開催した。

最初に、アイリスプランナー代表奥野美代子氏を講師に招き、「商店街活性化のための補助金の活用と今後の展開」をテーマに基調講演を行った。奥野氏は、自身が商業関係の補助金の相談・運用の実務に携わってきた中で、特徴的であった取り組みとして、にぎわい補助金活用事例や空き店舗対策補助金活用事例を紹介した。

次いで、桐生市末広町商店街振興組合理事長今川守氏、沼田市の会商店街振興組合理事長中島庸一氏、商店街振興組合高崎中部名店街理事長友光勇一氏の3氏が、それぞれ事例発表を行った。

続いて意見交換が行われ、お互いの商店街の取り組みについて、踏み込んだ質疑応答が行われた。最後に奥野氏は、「今後は、個々の商店街で蓄積したノウハウを商店街同士で共有し、少ない予算でも地域の消費者に喜ばれ、商店街の集客力に寄与するイベントが求められている」と締めくくった。

◎情報交換会を終えて

経済産業省の平成27年度予算の概算要求においても、商店街における地域コミュニティの形成や魅力創造に向けた取り組みを支援するとしています。是非、ご活用ください。



友光勇一 氏



中島庸一 氏



今川 守 氏

第66回 中小企業団体全国大会

第66回 中小企業団体全国大会

東日本大震災被災地の
産業・雇用基盤の整備加速化
中小企業・小規模事業者の
活性化税制の拡充

連携・組織化支援政策の強化
実感ある景気回復と
地域活性化の実現

「団結は力 見せよう組合の底力！」
～組合で進めよう！中小企業の持続的发展～



鶴田欣也全国中央会会長

大会は、定刻の13時30分、山本明弘全国中央会副会長の開会宣言で幕を開け、鶴田欣也全国中央会会長が「相互扶助の精神のもと団結の力を再確認することにより、全国385万の中小企業・小規模事業者の総意である、持続的な発展と豊かな地域社会の実現を図るための施策の強力な推進を、政府をはじめとする関係各方面に全力で働きかけるよう、努力して参る所存であります」と主催者を代表して力強い挨拶を行った。

「団結は力 見せよう組合の底力！」組合で進めよう！中小企業の持続的发展」をスローガンに、第66回中小企業団体全国大会が10月23日、東京都千代田区「日比谷公会堂」において開催されました。政府をはじめ関係各方面より多数の来賓を招き、全国から中小企業団体の代表者2000名が参集し、「実感ある景気回復と中小企業・小規模事業者の持続的发展」「地域を支える中小企業の活力強化」について13項目からなる大会決議を採択しました。



全国中央会副会長として登壇する金子正元会長

次に、多数の来賓を代表して宮沢洋一経済産業大臣、山本香苗厚生労働副大臣、小泉昭男農林水産副大臣、杉山秀二商工組合中央金庫代表取締役社長、金基文韓国中小企業中央会会長が祝辞を述べた。また政党を代表して、谷垣禎一自



組合功労者
田部井俊勝氏
(ぐんま共済協同組合理事長)



優良組合
群馬県室内装飾事業協同組合
(理事長 久保田清氏)

由民主党幹事長、山口那津男公明党代表が挨拶を行った。
表彰式では、優良組合32組合、組合功労者74名、中央会優秀専従者29名の表彰が行われた。本県からは、優良組合として群馬県室内装飾事業協同組合、組合功労者としてぐんま共済協同組合田部井俊勝氏がそのかいあに浴され、中央会優秀専従者として石井晁振興課長補佐が表彰された。



大会旗の継承

次いで、議長・副議長の選任が行われ、議長には鶴田欣也全国中央会会長、副議長には、津波古勝三沖縄県中央会会長、蝦名文昭全国中央会副会長が選任され議事に入った。議事では、13項目からなる大会決議案が一括上程され、決議案に関連して、尾池一仁全国中央会副会長が意見発表を行い、満場の賛同を得て採択された。
さらに、佐藤康全国中小企業青年中央会会長が「大会宣言」を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択された。
来年度については、平成27年11月20日、沖縄県・沖縄コンベンションセンターにおいて開催する

ことを発表し、大会旗が鶴田全国中央会会長から津波古沖縄県中央会会長へ継承され、最後に高田坦史中小企業基盤整備機構理事長の掛け声で万歳三唱が行われ閉会となった。
また、全国大会終了後、大会決議を内外に表明するため、都道府

県の中小企業代表者が一同に会した「全国中小企業団体代表者の集い」が帝国ホテルで開催され、本会から金子会長ら14名が出席した。当会合には、安倍晋三内閣総理大臣をはじめ多数の政府関係者及び国会議員が出席し、鶴田会長より大会決議文の伝達が行われた。

第66中小企業団体全国大会決議(概要)

I 実感ある景気回復と中小企業・小規模事業者の持続的発展

- 1 地域活性化と一体となった中小企業対策の実行
- 2 東日本大震災からの着実な復興支援の加速化
- 3 東京電力福島第一原子力発電所事故の克服
- 4 中小企業・小規模事業者の連携・組織化支援政策の強化
- 5 中小企業団体中央会の支援体制の強化・拡充
- 6 公正な競争環境の整備
- 7 官公需対策の推進・強化

II 地域を支える中小企業の活力強化

- 1 資金調達の円滑化と改訂成長戦略を具現化する金融支援の強化
- 2 中小企業・小規模事業者の活性化税制の拡充
- 3 商店街等及び中小小売商業の活性化支援の拡充
- 4 連携による中小流通業・サービス業の生産性向上の推進
- 5 社会保障制度の見直し
- 6 中小企業の実態を踏まえた労働・教育対策の推進